歌

再 び帰らざる若き日の感激を謳歌はまた。 たっぱい こうさい かんよう はい こう はい かん よう はい かん はい ととしく くる 知 切 でんけき かん よう はい ととしく くる 知 燗 のその饗宴はば 14 5 まか ととしく くる 知 燗 のその饗宴はばれる かえが しきぎ けいしん 二年を契る絢爛の 一年を契る絢爛の 一年を契る絢爛の はらまう はみらん

とまがふ は

ども見ずや穹

北京

に

去りては

よりは楡林に篝火を焚きて、 去りがふ万朶の桜花久遠に萎えざるを。ながに過ぎ易し。然れども見ずや穹はげに過ぎ易し。然れども見ずや穹はげに過ぎ易し。然れども見ずや穹にがに過ぎる。 は

ん。

0

我ゎ

寮みか

でんせい でんせい 生意気」 を を なれれっ でよい。 である。 流 る星 ほ光 ひ結 ま 転 た 屑 ず 明 っ び 友になるが集いが教 来こ Ĺ

苦むす青史誇りなくではいる。源は遠くしてその。源は遠くして

ல் T 建た先は鳴ぁて 人が呼ぁ

し自じ ここに芟

自由と自治

0 城る 呼花々

0 くさ大だい き**渡**こ

曠る つりて

野ゃ

だこりはす 盃に この 光恵めては こりはす こうなす こうない あいては の美酒 の 酒 三ヶは 年とせ

狂る降き情報自じ少し老さ

寝ね蔭が

若が北ほ 辰し

下も

崗 Ŧi. 昌 蓈 君 君 作 作 Ж 歌

感が四 激が調